



第23回
埼玉いのちの電話
チャリティ映画会



「婆ちゃん…
しゃぼん玉はさあ、
その場所にいたって思っても、
地面に着いた瞬間、
ぱちんて弾けちゃうんだ。
だから、風に吹かれて、
ぶらぶらするしかねえ…
でも、俺、もうそれじゃあ…」



会場ロビーにて
バザー開催!
10:00~14:00

©2016「しゃぼん玉」製作委員会

しゃぼん玉

これからが、これまでを変えていく。

林 遣都 藤井美菜 相島一之 綿引勝彦 / 市原悦子

2018年

3月24日(土)

大宮ソニックシティ小ホール

2回上映

①10:30 ~ ②14:00 ~

開場時間はそれぞれ30分前となっております

協力券 1000円

■問合せ先 埼玉いのちの電話事務局

Tel. **048-645-4322**

会場が混雑した場合、電話予約の方から優先的にご入場していただく場合もございます

<http://saitama-id.or.jp/>

午前の部は視覚障がい者の方々に「音声ガイド」を実施(希望者は上映中に携帯ラジオのFMでガイドを聴きます) 詳細については、埼玉いのちの電話ホームページをご覧ください。

主催：埼玉いのちの電話後援会

後援：埼玉県 / さいたま市 / 埼玉県教育委員会 / 埼玉県社会福祉協議会 / さいたま市社会福祉協議会 / 埼玉県PTA連合会

協賛：株式会社大和不動産 / 株式会社松下設計 / 埼玉トヨペット株式会社 / 一般財団法人埼玉新聞社会福祉事業団 / 三州製菓株式会社 / 服部地質調査株式会社 / 武州ガス株式会社 / ボラスグループ / 南福音診療所・福音診療所

協力：FM NACK5 / テレ玉 / さいたま朝日 / 株式会社ぱど / 埼玉マリオン / 東京新聞ショッパー社さいたま支社 / ふれあいタウン / リビングガイド / アットホームニュース幸手 / 特定非営利活動法人埼玉映画ネットワーク / バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツ

直木賞作家・乃南アサの
ベストセラール小説、
待望の映画化。

ストーリー

親の愛情を知らずに育ち、女性や老人だけを狙った通り魔や強盗傷害を繰り返してきた伊豆見翔人(林遣都)。

人を刺し、逃亡途中に迷い込んだ宮崎県の山深い椎葉村で怪我をした老婆スマ(市原悦子)を助けたことがきっかけで、彼女の家に寝泊まりするようになった。初めは金を盗んで逃げるつもりだったが、伊豆見をスマの孫だと勘違いした村の人々に世話を焼かれ、山仕事や祭りの準備を手伝わされるうちに、伊豆見の荒んだ心に少しずつ変化が訪れた。

そして10年ぶりに村に帰ってきた美知(藤井美菜)との、出会いから、自分が犯した罪を自覚し始める。

「今まで諦めていた人生をやり直したい」

——決意を秘めた伊豆見は、どこへ向かうのか…。

TVシリーズ「相棒」で監督を務めてきた東伸児の、劇場初監督作品となる。映画の舞台となったのは、宮崎県北部広域行政事務組合9市町村「天孫降臨ひむか共和国」のひとつでもある椎葉村(しいばそん)。宮崎県北部の絶景や素晴らしい原風景、恵まれた自然の素材を活かした郷土料理も、映画に彩りを添えている。

主演の伊豆見役に、又吉直樹原作のNetflixオリジナルドラマ「火花」(2016)など立て続けに話題作に出演し、近年活躍が目覚ましい林遣都。伊豆見が逃亡先で出会う老婆・スマ役に、日本を代表する女優・市原悦子。ある事件をきっかけに村に戻ってきた美知役には、韓国で爆発的人気を誇る新鋭・藤井美菜。厳しくも伊豆見を見守る村人・シゲ爺役に綿引勝彦、スマの息子役に相島一之を迎える。

